

## 当日のスケジュール

来賓挨拶 田村 憲久(厚生労働大臣)

1. 基調講演(オンライン)

「WHO 西太平洋地域における COVID-19 の現状と今後の課題(仮題)」 演者:葛西 健(WHO 西太平洋地域事務局 事務局長)

2. 特別講演

「新型コロナウイルス感染症対策における地域保健の役割(仮題)」 演 者:尾身 茂(独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長/ 新型コロナウイルス感染症対策分科会 会長)

3. 講演

①「地域保健における最近の動向~新型コロナウイルス感染症~(仮題)」 演者:正林 督章(厚生労働省健康局長)

②「新型コロナウイルス感染症対策とクラスター対策について

~情報共有・支援体制~(仮題)」

演 者:齋藤 智也(国立保健医療科学院健康危機管理研究部 部長)

③「自治体における現状と課題」

●自治体における現状と課題(仮題)

演 者:中澤 よう子(全国衛生部長会 会長)

●感染症対策の拠点としての保健所の取り組みと課題(仮題)

演 者:內田 勝彦(全国保健所長会 会長)

新型コロナウイルス感染症に対する保健師活動(仮題)

演 者:清田 啓子(全国保健師長会 会長)

④「行政検査等における地方衛生研究所の現状と課題について(仮題)」 恒明(地方衛生研究所全国協議会 会長) 演 者:調

⑤「新型コロナウイルス感染症に起因した人権問題への取組」

演者:江口 幹太(法務省人権擁護局人権啓発課長)

4. パネルディスカッション

座 長: 宮嵜 雅則 (国立保健医療科学院 院長) 助言者: 岡部 信彦 (川崎市健康安全研究所 所長)

5. 座長・助言者まとめ

新型コロナウイルス感染の状況等により、本シンポジウムは中止になる可能性があることをご承知おきください。

## 2020年12月16日水 13:00-17:00

## 場所

# 社協・灘尾ホール

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル LB 階 TEL. 03-3580-0988

- ▶ 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」 11番出口より徒歩5分
- ▶ 地下鉄千代田線/丸ノ内線/日比谷線「霞ケ関駅」A13番出口より徒歩7~8分
- ▶ 地下鉄千代田線/丸ノ内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分



## 一般財団法人 日本公衆衛生協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番8号 TEL:03-3352-4281 FAX:03-3352-4605

# 新型コロナウイルス感染症 ~地域保健における取り組みと課題~



今般の新型コロナウイルス感染症につきまし ては、国内での初発感染から間もなく 1 年が経 過しようとしています。当協会では機関誌「公 衆衛生情報」において、5月号から9月号にか けて、現場の切実な声を届けるため新型コロナ ウイルス感染症に関する記事を連載した他、啓

発ポスターの作成、企業の CSR 活動への支援、保健所職員に対す る研修会の開催など予防活動に取組んでまいりました。

さらに、今般、厚生労働省を始め、公衆衛生に携わる自治体関 係者の方々の参加を得て、「新型コロナウイルス感染症~地域保健 における取り組みと課題~」と題してシンポジウムを開催することと いたしました。未だ終息の兆しが見えない状況の中にあって、直接 現場で対応されている自治体関係者の方々や予防対策の陣頭指揮を とられている政府の関係者の方々と率直に議論を深め、今後の取組 みの糸口を見出す機会となることを願っております。

当協会は、明治 16 年に設立された大日本私立衛生会を前身とし て、長年、公衆衛生の向上に関する事業を行い、公衆衛生関係団 体の活動を支援する組織として、日本の公衆衛生の発展に寄与して 参りました。

かつて、大日本私立衛生会時代の大正 7 年から 9 年にかけて、 スペイン風邪が世界的に大流行し、多数の国民が犠牲になっており ます。当時の記録によりますと、同会は「流行性感冒に対する家庭 の心得」の啓発、感染予防に関する正しい知識の普及、政府に対 する建議を行うなど様々な活動を展開しております。

現在、本会は、一般財団法人日本公衆衛生協会として、一般社 団法人日本公衆衛生学会並びに全国衛生部長会や全国保健所長会 を初めとする公衆衛生関係団体の事務局を担っております。また、 広島県、長崎県から委託を受けて在外被爆者に対する医療費等の 助成事業を行うとともに、広く一般国民の皆様のための保健指導書、 地域保健関係職種の専門書及び機関誌「公衆衛生情報」の発行な どを通して、国民の公衆衛生の向上に資する活動を行っております。

特に最近では、東日本大震災を契機に大規模災害発生時に迅速 に現地の保健医療行政の指揮調整機能等を応援するため、厚生労 働省と協同して災害時健康危機管理支援チーム(Disaster Health Emergency Assistance Team < DHEAT > ) の養成も行っていると ころです。

一刻も早くこの惨禍から脱却し、国民が安心して生活を営むこと ができるよう、関係者がより一層効果的な対策に取り組むことができ ればと願い、本シンポジウムを開催する次第です。多くの皆様のご 参加をお待ち申し上げます。

> 令和2年秋 一般財団法人日本公衆衛協会 理事長 松谷有希雄



## 大正8年当時流行したスペイン風邪に対する 大日本私立衛生會が配布した予防注意書

### 流行性感冒に對する家庭の心得

□流行性感冒はたゞの『かぜ』ではありません、怖ろしい傳染

昨年以來世界各國を脅かした流行性感冒は頗る悪性で動も すれば肺炎を併發して生命を奪らるゝものが非常に多くありま すから、左に其豫防法を述べて是非々々皆様の御實行を願ひ たいのであります。

- 流行性感冒といふから風引の様な感じがして東角輕侮する 傾きがありますが、是が抑えの間違ひです。此病氣は中々そ んな軽いものではなく、實に恐ろしい特別の傳染病ですから、十分な注意と努力で豫的しなければ酷ひ目に遂ひます。
- (二) 已むを得ざる場合の外多數集合する場所、假令ば活動寫 では、またが、ボーストリセぬが良いと云ふのは、是等の 場所には軽症の感冒患者が盛んに微菌を散らしてほるからでき 場所には軽症の感冒患者が盛んに微菌を散らしてほるからでき あります。別けて込着つて居る電車などでは充分の注意を繋 します。
- (三) 若し己むを得ず外出して着様の場所に立入る場合は、成 る可く呼吸保護器(レスヒラートといつて塵埃を濾し空氣を清 浄にする物)文は襟巻、手巾などで鼻口を覆ふことを忘れて はなりません。
- (四) 時々含物をするのが豫防に有効です。別して外出から歸れて したる時は必ず含嗽する事です。含嗽藥には五十倍の硼酸か 鹽剝は良いのですが、已むを得ぬ時は稀薄な食鹽水か微温湯 でも差支ありませぬ。
- (五) 電車又は集會の場所で咳や嚏をする時は其沫が他人にかゝ らぬ様手巾などにて鼻口を覆ふのが作法ばかりではなく公徳 であります
- (六) 感冒患者の家に出入せず、咳嗽する人には成るべく接近せ ぬが一番です。
- (七) 部屋の裡は平常よりも頻繁に隅から隅まで掃除をして所謂 消毒的清潔法を實行し、晴天の日には時々明放して日光と 空気を迎へ入れなさい。殊に流行性感冒患者快復後の部屋に立て は之を實行なさい。左もないと再び發する虞れがあります。 幼兒、老人、妊婦などの居る部屋は戸障子の隙間を塞ぎ、程 好き温度と濕氣を保ち風邪を引かぬ様細かに注意せねばなり
- (八) 學校から歸つた子供には含嗽と同時に必ず顔と手足を洗
- はせなさい。 (九) 頭痛、發熱、咳嗽など身體に異常ある時は速やかに醫師 の診療を受け一刻も早く手當をするのが肝要です。
- (十) 家内に患者の出た時は別室に離隔して着護人の外は家人 も見舞客も獲りに室内に入れてはなりませぬ。 (十一) 着護人は常に呼吸保護器を用ひ尚消毒を嚴重にするは
- 言ふ迄もありません。
- 二) 窓者の寝具と衣類とは必ず他人の分と區別し、飲食用 器具は其都度熱湯を注いで洗ふ事です。
- (十三) 患者の痰は最も嚴重に始末せねばなりませぬ、其最も が、一切を表している。 簡便の方法は瀬戸物の痰を違い吐かせ置き、之に洗濯曹達を 一摘み入れ其上から熱湯を注ぎ能く混ぜたる後是を便所に捨 てるのです。
- (十四) 患者の寝道具や衣類は充分に日光におほしなさい、日光 は黴菌を殺す最良の武器で有ります。

大正八年二月 東京市麹町區大手町 大日本私立衛生會

開催日時

## 2020年12月16日水 13:00-17:00



全社協・灘尾ホール 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル LB 階 TEL. 03-3580-0988



